

《平成24年度 薩摩川内市事務事業評価表》

|                          |  |             |                           |                        |
|--------------------------|--|-------------|---------------------------|------------------------|
| <b>1 事務事業の位置付け(Plan)</b> |  |             | 内部評価者名<br>課長・室長・支所長       | 湯原 忍                   |
| 事務事業名                    | 健康スポーツ教室事業   |             | 担当者                       | 宮内 明智                  |
| 所管部課名                    | 教育部 市民スポーツ課  |             | 事業の根拠<br>(根拠法令)           |                        |
| 事業の種類                    | <input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設管理 <input type="checkbox"/> 内部管理 |             |                           |                        |
| 総合計画上の<br>位置づけ           | 施策の<br>基本方針  | 政策<br>(章)   | 地域の特色を活かした教育・文<br>化のまちづくり | 主要施策<br>(節)<br>スポーツの振興 |
|                          |  |             |                           | 施策<br>(項)<br>スポーツの振興   |
| 予算科目等                    | 会計   | 一般会計        | 款                         | 教育費                    |
|                          | 項  | 保健体育費       | 目                         | 保健体育総務費                |
|                          | 事項   | 健康スポーツ推進事業費 | 細事項                       | 健康スポーツ推進事業費            |

**事業の概要**

市民の健康・体力づくりのひとつとして、各年代・男女に応じた各種教室を提供する。健康スポーツ教室に参加することにより、体を動かすことへのきっかけをつくり、さらに、既存のサークルやスポーツ教室へ参加することにより運動習慣の定着化が図られ、継続した健康体力づくりができる。

**2 事務事業の実施 (Do)**

|           |                        |   |                                       |              |                 |                 |                 |       |
|-----------|------------------------|---|---------------------------------------|--------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------|
| 事業の内容     | 対象<br>(誰を、何を対象とする事業か)  | 市民(全世代)   |                                       | 事業開始年度       |                 |                 | 平成17年度          |       |
|           | 手段<br>(市がどのような活動をするか)  | 専門知識を有する指導者を講師とし、各年代・男女に応じた各種教室を企画し、広く市民に周知し、提供を行う。   | 活動指標<br>(市として何をを行うか?)                 | 指標名          | ①               | 各種健康スポーツ教室の企画   |                 |       |
|           |                        |   |                                       | 最終目標値        | ②               |                 |                 |       |
|           | 意図<br>(どのような目的で事業を行うか) | 各年代に応じた教室を企画することで、それぞれの目的に応じた教室を選択することができ、市民が気軽にスポーツに親しむ環境を提供する。教室終了後は、既存のサークル・教室に参加することにより運動習慣の定着が図られ、継続した健康体力づくりができる。 | 成果指標<br>(活動をした上で、目標となる成果をどのように設定するか?) | 最終目標値        | ①               | 7教室/年           |                 |       |
| 最終年度      |                        |   |                                       | ②            |                 |                 |                 |       |
| コスト・指標の推移 | 項目                     | 単位  | 平成22年度<br>決算                          | 平成23年度<br>決算 | 平成24年度<br>(見込み) | 平成25年度<br>(見込み) | 平成26年度<br>(見込み) |       |
|           | 事業費                    | 国・県支出金  | 千円                                    |              |                 |                 |                 |       |
|           |                        | その他   |                                       |              |                 |                 |                 |       |
|           |                        | 一般財源  |                                       | 1,854        | 1,866           | 1,865           | 1,865           | 1,865 |
|           |                        | 合計(A)   |                                       | 1,854        | 1,866           | 1,865           | 1,865           | 1,865 |
|           | 従事職員数                  | 人   | 0.10                                  | 0.10         | 0.10            | 0.10            | 0.10            |       |
|           | 人件費(B)                 | 千円  | 800                                   | 800          | 800             | 800             | 800             |       |
|           | 従事嘱託員数                 | 人   |                                       |              |                 |                 |                 |       |
|           | 人件費(C)                 | 千円  | 0                                     | 0            | 0               | 0               | 0               |       |
|           | トータルコスト                | 千円  | 2,654                                 | 2,666        | 2,665           | 2,665           | 2,665           |       |
| 活動指標の推移   | ①                      | 教室数/年   | 6教室/年                                 | 7教室/年        | 7教室/年           | 7教室/年           | 7教室/年           |       |
|           | ②                      |   |                                       |              |                 |                 |                 |       |
| 成果指標の推移   | ①                      | 参加者数  | 1,197人                                | 1,389人       | 1,400人          | 1,450人          | 1,500人          |       |
|           | ②                      |   |                                       |              |                 |                 |                 |       |

**事業費の主な支出内容(事業内容がわかるよう、支出する主なものを記入してください)**

委託料: 川内スポーツクラブ01《スマートアカデミー、ピギナー教室、元気100倍キッズ》  
ひわきコミュニティスポーツクラブ《小学生水泳教室、アクアピクス》

### 3 事業の視点別評価 (Check)

|     |   |   |  |   |
|-----|---|---|--|---|
| 妥当性 | 対象・手段の妥当性   | <input type="checkbox"/> 妥当である              | <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地はある | <input type="checkbox"/> 妥当でない              |
|     | (上記選択の理由)<br>各年代・男女に応じた教室を提案することで、それぞれ、自分の目的に応じた教室を選択することができ、市民が気軽にスポーツに親しむことができる。<br>今後は、市民が自分の健康は自分で手に入れ維持するという意識付けをするため、教室の希望調査・アンケート等により、市民のニーズに応じた教室を企画・実施することにより、より気軽にスポーツに親しむ環境の提供が出来る。          |   |  |   |
| 妥当性 | 市が関与すべき妥当性  | <input checked="" type="checkbox"/> 市で実施すべき | <input type="checkbox"/> 民間でも可能              | <input type="checkbox"/> 民間で実施すべき           |
|     | (上記選択の理由)<br>市民の健康づくりの「きっかけづくり」は行政で取り組まなければならない業務である。<br>しかし、有資格者の確保が難しく、既存のスポーツクラブに委託することで、気軽に参加できる環境整備にも努めている。<br>特に、受託先のスポーツクラブは、教室終了後も既存のサークルや教室への入会案内ができるため、運動習慣の定着という大目標を達成する受け皿がある。              |   |  |   |
| 効率性 | 事業費の削減余地  | <input type="checkbox"/> 削減余地がある            | <input type="checkbox"/> ある程度ある              | <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地はない |
|     | (上記選択の理由)<br>事業費は、既存スポーツクラブへの委託料であり、指導者への講師謝金等である。<br>専門知識を有した指導者であり、職員が対応するとすると、資格取得から行わなければならない。<br>また、教室終了後は、受託事業所であるスポーツクラブの既存サークル・教室への入会を促し、継続した健康体力づくりが図られることから、運動習慣の定着がもたらす身体への効果及び必要性を含めて周知を図る。 |   |  |   |
| 効率性 | 人件費の削減余地  | <input type="checkbox"/> 削減余地がある            | <input type="checkbox"/> ある程度ある              | <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地はない |
|     | (上記選択の理由)<br>人件費は、指導者への講師謝金及び旅費である。<br>健康スポーツ教室は、市民のニーズに応じたプログラムを提供するため、教室数・指導者数を制限することは難しい。  |   |  |   |
| 有効性 | 成果の達成度  | <input type="checkbox"/> かなり高い              | <input checked="" type="checkbox"/> やや高い     | <input type="checkbox"/> 低い                 |
|     | (上記選択の理由)<br>これまでの成果として、教室に参加し、「体力向上が図れた。」「運動継続の必要性を感じ今でも継続している。」「教室終了後、スポーツクラブへ入会し、運動を継続している。」などの声を多数聞いている。<br>また、教室を実施する中で、個人としての身体機能・運動能力の向上及び体を動かすことの楽しさを体験することで、QOL(生活の質)を高めることにもつながっている。          |   |  |   |
| 有効性 | 成果の向上余地   | <input checked="" type="checkbox"/> かなりある   | <input checked="" type="checkbox"/> ある程度ある   | <input type="checkbox"/> ほとんどない             |
|     | (上記選択の理由)<br>現在の教室参加者には、習熟度に応じたプログラムを提供し、個々にあった運動を継続してもらうように指導している。<br>また、市民のニーズを汲み取り、新たな教室を開催することで、広く市民に体を動かす「きっかけ」づくりを提供し、さらに、運動継続の必要性を説明した上で実践につなげていく。   |   |  |   |

### 4 事業の改革・改善の方向性 (Action)

|                                  |  |  |                               |                             |
|----------------------------------|--|--|-------------------------------|-----------------------------|
| 内部評価<br>(一次)                     | ①今後の改革の方向性   |  |                               |                             |
|                                  | <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続<br><input type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒ 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input type="checkbox"/> 手段の改善 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小<br><input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 |  |                               |                             |
|                                  | ②上記方向の理由    市民の健康維持のひとつは、「体を動かす」ことであることは理解しているが、多くの市民は、何をどの様に始めたらいいのかわからない状況である。各年代・男女に広く、各種の健康スポーツ教室を提供することで、個々のニーズに応じた運動の「きっかけ」を提供できる。<br>特に、幼児から高齢者までが、それぞれの必要に応じた教室に参加し、ある程度成果を得られた後には、スポーツクラブへの入会を促し、習熟度に応じた受け皿もできている。  |  |                               |                             |
| 内部評価<br>(二次)                     | ③改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画  |  |                               |                             |
|                                  | ニーズに応じた健康スポーツ教室を提供するためには、市民や教室修了者にアンケートを実施し、どのような教室を希望しているのかの把握を行う。  |  |                               |                             |
|                                  | 評価者名   | 教育部長 田畑逸郎                              |                               |                             |
| 内部評価<br>(二次)                     | ①内部評価結果  |  |                               |                             |
|                                  | 妥当性 ⇒  | <input checked="" type="checkbox"/> 高い | <input type="checkbox"/> やや高い | <input type="checkbox"/> 低い |
|                                  | 効率性 ⇒  | <input checked="" type="checkbox"/> 高い | <input type="checkbox"/> やや高い | <input type="checkbox"/> 低い |
| 内部評価<br>(二次)                     | ②今後の改革の方向性   |  |                               |                             |
|                                  | <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続<br><input type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒ 今後の方向 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input type="checkbox"/> 手段の改善 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小<br><input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止  |  |                               |                             |
|                                  | ③上記の改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画(内部評価一次と違う部分)  |  |                               |                             |
| ・スポーツクラブとの連携と活用<br>・事業の市民への広報・周知 |  |  |                               |                             |